

新たな時代の人づくり協働推進事業補助金交付申請書

提出日を記入→ 令和●年●月●日

山口県知事

様

所在地

〒●●●●—●●●●●

●●市●町1-1

団体名

●●市ワークショップイベント実行委員会

代表者職氏名

委員長 山口太郎

このことについて、新たな時代の人づくり協働推進事業補助金交付要綱第7条の規定に基づき、下記により新たな時代の人づくり協働推進事業補助金を交付されるよう関係書類を添えて申請します。

記

1 補助金申請額	300,000 円	
2 添付書類	(1) 団体概要書 (別紙1)	[○]
※ []に○を付けて揃っているかを確認してください。	(2) 事業計画書 (別紙2)	[○]
	(3) 事業収支予算書 (別紙3)	[○]
	(4) 組織の運営に関する規則等 (定款・規約・会則等)	[○]
	(5) その他 (パンフレット等)	[—]

◆他機関・団体補助金・助成金の申請状況（予定も含む）

機関・団体名	なし
事業名・金額	なし

◆事務担当者連絡先

住所	〒●●●●—●●●●● ●●市●町1-1 ●●市ワークショップイベント実行委員会事務局 (●●市 青年会議所内)		
職氏名	役職 (主任) 氏名 (滝町 花子)		
TEL	08×-×××-××××	FAX	08×-×××-××××
メールアドレス	×××@××××.co.jp		

(別紙1)

団体概要書

ふりがな	●●しわーくしょっぷいべんと じっこういいんかい	ふりがな	やまぐち たろう
団体名	●●市ワークショップイベント 実行委員会	代表者職氏名	[役職：委員長] 山口 太郎
団体所在地	〒●●●●-●●●● ●●市●町1-1		
設立年月日	令和4年2月1日	会員数	10名
団体の目的 及び趣旨	子どもたちの創造力や表現力、地域への誇りと愛着を高めるため、多くの市民の参画のもと、これからの町の未来を担う子どもたちの興味・関心を刺激し、探究心を高める様々なモノづくり体験ワークショップを一堂に集めたイベントを開催するとともに、地域の資源を活かした魅力的なイベントを併催する。		
活動地域	●●市内		
役員名簿	役職名	氏名	備考
	委員長 委員 委員 委員	山口 太郎 山口 次郎 滝町 一 朝野 太陽	●●市青年会議所理事 ●●市役場政策企画課長 ●●市教育委員会教育政策課長 ●●高等学校教諭 ※参考となる他の所属団体や職名があれば記入

事業計画書

事業の名称	子ども向けモノづくり体験ワークショップイベント開催事業																
事業の目的	※本事業が対象となる子ども・若者の学びにどのようにつながるのかを含めて記入 デジタルからアナログまで多様なモノづくり体験ワークショップを一堂に集めたイベントを開催することで、子どもたちの好奇心や探究心を刺激し、創造力や表現力の向上を図る。																
該当する推進方針の「取組の視点」	<p>「山口県新たな時代の人づくり推進方針」の「取組の視点」のうち、本事業が最も重視する視点を一つ選び、その視점에該当する理由を記入してください。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>最も重視する「取組の視点」</th> <th>該当</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1) 生涯にわたる人づくりの基礎を培う</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(2) ふるさと山口への誇りと愛着を高める</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(3) 新たな価値を創造する力を育む</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>(4) 誰にも等しくチャレンジの機会を創る</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(5) 地域や時代のニーズに対応し、チャレンジのための環境を整える</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(6) 新たな人づくりの推進体制を築く</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>該当する理由 子どもの興味・関心に基づき、クリエイティブな体験をとおしてモノづくりに試行錯誤することで、価値観を持って恐れずに挑戦する力や、創造力や表現力の向上に資する取組となると考えている。</p>			最も重視する「取組の視点」	該当	(1) 生涯にわたる人づくりの基礎を培う		(2) ふるさと山口への誇りと愛着を高める		(3) 新たな価値を創造する力を育む	○	(4) 誰にも等しくチャレンジの機会を創る		(5) 地域や時代のニーズに対応し、チャレンジのための環境を整える		(6) 新たな人づくりの推進体制を築く	
最も重視する「取組の視点」	該当																
(1) 生涯にわたる人づくりの基礎を培う																	
(2) ふるさと山口への誇りと愛着を高める																	
(3) 新たな価値を創造する力を育む	○																
(4) 誰にも等しくチャレンジの機会を創る																	
(5) 地域や時代のニーズに対応し、チャレンジのための環境を整える																	
(6) 新たな人づくりの推進体制を築く																	
事業の新規性	※本事業が既存の取組とは異なる、新たな内容や先駆的な内容を記入 ●●市内にはこれまで、幼児・児童を対象に行うモノづくりのワークショップが開催されることがなかったため、地域の団体や学校による●●市ワークショップイベント実行委員会を新たに組織として立ち上げ、各団体の協働によるイベントを開催																
事業を行う地域・会場	※地域は「県全域」、「県○○部」、「○○市及び○○市」などを記入																
	地域	会場名	住所														
①	●●市内	●●市文化会館	●●市●町25-16														
②																	
連携先及び連携内容・役割等	※協力・協働・連携を予定している団体等について、連携内容や役割分担等を記入 ※実行委員会形式など、申請者が連携体の場合は構成団体名等も記入																
	連携先	所在地(市町)	連携内容・役割等														
①	●●市青年会議所	●●市	運営														
②	●●高等学校	●●市	ボランティアスタッフ														
③	●●市役所政策企画課	●●市	周知協力														
④	●●●(株)	××市	ワークショップ出展														
			共催・後援														
			共催														
			—														
			後援														
			—														

事業内容・ 実施方法等	※目的を達成するために何をするのか、事業の具体的な内容（対象、定員、会場等含む）をスケジュールとともに整理して、詳しく記入
	<p>1. デジタルからアナログまで、子どもたちの好奇心や探究心を刺激する多様なモノづくり体験ワークショップを一堂に集めたイベントを開催</p> <p>(1) 開催予定時期 令和5年8月頃 13時～17時</p> <p>(2) 出展ブース数 10ブース程度</p> <p>(3) 対象 市内の幼児・児童及び保護者</p> <p>(4) 参加費 無料</p> <p>※ イベント会場に隣接する河川沿いにおいて、18時から夕涼みイベントを併催</p>
期待される学び の成果	※本事業の参加者に期待される学びの成果を記入
	<p>子どもの興味・関心に基づき、クリエイティブな体験をとおしてモノづくりに試行錯誤することで、価値観を持って恐れずに挑戦する力や、創造力や表現力の向上が期待できると考えている。また、子どもたちに学びの場を提供する大人たちにとっても、趣旨に賛同した同士とのネットワークを形成することができ、今後の継続的で発展的な取組の基礎を築けるものと考えている。加えて、市の自然環境を活かしたイベントを併催するため、郷土への誇りと愛着の向上にも繋がるものと期待している。</p>
他の団体への波及効果	※本事業を通して他の団体への波及効果がどのように見込まれるのかを記入
	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業をとおして形成されたネットワークによる各団体間の情報交換や相互協力 ・他団体が本事業を参考に、同様の事業を違う地区等で実施
自走に向けた計画	※本事業を継続実施していくために必要な資金の調達や人員の確保策などの計画について記入（2年目又は3年目の自走に向けた計画を記入）
	<p>事業実施に向け協力企業の開拓を進めるとともに、興味を示す企業等には出展の依頼やプログラム実施時の参観などの形で関わってもらうとともに、事業実施時の企業広告の掲載など、企業等のメリットをPRしていくことで、無償協力や寄付金・協賛金等の獲得を進めていく。</p> <p>1年目は、事業内容や企業等のメリットを理解してもらうことに注力し、2年目には協賛企業を獲得、3年目は更に多くの無償協力や寄付金・協賛金を獲得し、自走を目指していく。</p>

枠は適宜拡大して記入すること

事業計画書を記入する場合の注意事項

- 本様式には、申請年度の補助事業計画に関するもののみ記入すること
- 付記事項（※）に十分留意の上、できるだけ具体的に記載すること

(別紙3)

事業収支予算書

(1) 収入

(単位：千円)

科目	予算額	内 訳
① 当事業補助金	300	新たな時代の人づくり協働推進事業補助金申請額
② 他機関・団体補助金等	0	
③ 寄付金・協賛金	0	
④ 自己負担金	50	
⑤ 参加料等収入	0	
⑥ その他	0	
収入合計	350	

(2) 支出

(単位：千円)

科目	補助対象経費	
	予算額	内 訳
⑦ 謝 金	100	出展者謝金 (材料費込) (10 団体×10 千円)
⑧ 旅 費	90	職員事業調整旅費 (3 千円×10 回)、出展者旅費 (10 団体×3 人×2 千円/人)
⑨消耗品費・ 原材料費	30	フェイスガード・消毒液等購入代 20 千円、ペン・用紙・封筒購入費 10 千円
⑩印刷費・ 広告宣伝費	30	ポスター・チラシ製作費 (ポスター20 部、チラシ 500 部)
⑪通信運搬費	10	チラシ等郵送費 10 千円
⑫使用料・賃借料	20	会場使用料 20 千円
⑬委託費	0	
⑭保険料・手数料	20	イベント保険料 20 千円
⑮その他の経費	0	
(a) 補助対象経費計	300	
(b) 補助対象外経費計	50	出展者・運営スタッフ昼食代 (50 人×1 千円)
(a+b) 支出合計	350	

事業収支予算書を記入する場合の注意事項

- 収入合計と支出合計の額は一致させること
- 本様式には申請年度の補助事業に関するもののみ記入すること。また、他の事業との共通経費（事務所費、団体職員人件費など）を除き、事業実施に伴って必要となる全ての経費を記入すること
- 「①当事業補助金（補助金申請額）」は、「(2)支出」の「(a)補助対象経費計」から「(1)収入」の「⑤参加料等収入」を控除した額の範囲内かつ50万円を超えない金額を記入すること。※金額は千円単位とし千円未満は切捨
- 「②他機関・団体補助金等」の内訳欄には、山口県以外の交付元団体別に額を記入すること
- 「⑤参加料等収入」には、ワークショップの開催や研修プログラムの実施において参加者から徴収する料金や研修・ワークショップ等においてプログラムやパンフレットなどを販売する場合の売上金及び企業広告掲載料など、事業実施に伴う収入を記入すること
- 「内訳」欄には積算根拠（概算見積）を可能な限り具体的（個々の用途別の単価、員数、回数等）に記入すること
- 「(2)支出」の「(b)補助対象外経費計」欄には、事業実施に必要なが補助の対象とならない経費の合計金額を、また内訳欄にはその内容（講師昼食代など）を記入すること

◆補助対象とならない経費◆

役員・常勤職員等に係る人件費や謝金、会議費、講師等への手土産代や花束代、飲食費（講師やスタッフの昼食代、懇親会、打ち上げ等の全て）、団体の運営費（家賃、光熱水費、電話料等通常の団体運営経費）、他団体への助成金、補助金、寄付金、義援金